



地域おこし協力隊に 新しい仲間が加わりました

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、市から委託を受け、都市部から移り住み、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。市では、観光、林業、木材産業、農業振興のため、12人の地域おこし協力隊が活動しています。

SNSで市の魅力を紹介

観光情報の発信や観光資源のPRなどをSNSを通して行っています。イベントで撮影した写真なども紹介していますので、ぜひ、フォローをお願いします。



◆林業振興

自然と関わりながら暮らせる仕事を探している中で、みどり市での林業振興に関する募集を目にしました。その後、おためし協力隊として現地での活動環境を実際に見ることができたことで着任後のイメージが湧き、応募しました。

林業を通して森林資源の持続的活用のための知識を学び、それに必要な技術と資格取得に取り組むと考えています。

今までとは大きく異なる環境に身を置くことに不安はありますが、それ以上に新天地での活動が楽しみです。至らぬ点が多々あるとは思いますが精一杯取り組んでいきたいと思っています。



吉澤 駿さん (26 歳)
出身 東京都江戸川区
趣味 ツーリング、キャンプ

◆林業振興

知り合いの林業家の下で約1年間林業を学び、林業家として独立することを模索していたところ、みどり市では林業支援に力を入れていることを知り、協力隊員に応募しました。

技術や経験を積むことはもちろん、林業事業を営む上で必要な知見の習得を目指し、森林の施業や管理を任せただけできるよう、地域の人と積極的に交流して信頼を得たいと考えています。

狩猟の経験があるため有害鳥獣駆除へも取り組み、木材生産活動だけではなくもっと広い視野で捉えて、地域への貢献と新たな価値創造につながる活動を行いたいと思っています。



後藤 洋さん (52 歳)
出身 愛知県江南市
趣味 プログラミング、読書、キャンプ

ものものはベーカーリーを開業してから半年が経ちました。いろいろな媒体で紹介いただいたことで、認知度も上がってきました。みどり市のイベントに参加した際には、立ち寄ってくださる人も増えてきました。かねてからの目標であった、自分たちで栽培した小麦を自家製粉し、パンを作って販売することが達成できました。6月下旬に収穫した小麦を使用し、食パンからコッペパンまでほとんどのパンが自家栽培小麦の全粒粉入りパンになっています。北海道の小麦粉とブレンドすることで、麦の風味が感じられ、ふわふわでもっちりとしたパンになりました。9月からは、毎週水曜日に旧ピートンホテル跡の敷地（大間々町）を



お借りして販売を始めています。ぜひ、お立ち寄りください。11月からは麦まきが始まります。農業と兼業でパン屋を経営していくことに難しさを感じる部分もありますが、お客さまからの「美味しかった」「麦の香りが良いね」など感想をいただけるとうれいを感じます。これからも「小麦から作るパン屋さん、ものはベーカーリー」を広めていきたいです。

地域おこし 協力隊 活動日記



佐々木 梨乃

